

あさなみ 浅海地区

人口: 1,020人(高齢化率53.1%)
世帯数: 524世帯

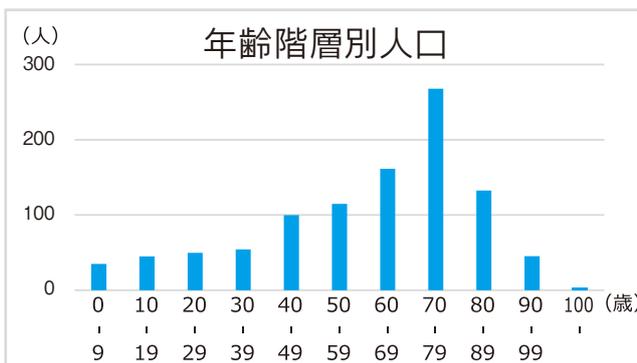


【地区の特色】

松山市の最北端に位置し、国道196号線に沿っている。東南に恵良山、西に腰折山、新城山、北に名石山、千波ヶ嶽と三方を山に囲まれているが、しまなみ海道の開通でより交通量が増加した。最近の生活様式の多様化により兼業農家に移行しつつあり、かんきつ地帯として将来発展の道をたどる地区である。また、地区住民の協調的な意識は盛んであり、人情も細やかで各種社会教育的な行事に参加しようとする気風も高まりつつある。



ふるさと夏祭り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事(運動会、まつり等)に多数の人が参加する ・知り合いが多い ・自然がある(海、山) ・コスモス畑 ・遍路道、遍路宿がある ・神社 ・あさなみマルシェの実施 ・公民館、保育園、小学校教員など地域の各種団体との繋がりが強い ・近隣住民間での共助の風習がある(見守り) ・おいしい高級柑橘(紅まどんな・せとか・甘平)の栽培 ・新たな通いの場(水曜どうでしょう)の開催
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関がない ・スーパー、コンビニ等がない ・交通の便が悪い ・空き家の増加 ・少子化、高齢化 ・農業の後継者が少ない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニがなく買い物に不便 ・医療機関がない ・高齢者のゴミ出し ・交通の便が悪い ・各種団体の後継者不足 ・高齢者の増加による災害時の援護等の不安

浅海地区社会福祉協議会

思いやり・温もり・感動・笑顔の浅海

構成団体	地区民協・公民館・分館・日赤奉仕団・保護司会・小学校・保育園・PTA・消防団 高齢クラブ・区長・交通安全協会・みまもり員
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回(8月、2月)作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
通いの場の実施 (水曜どうでしょう)	介護予防や生きがいづくり、また健康や介護について相談できる住民だれもが参加できる通いの場です。毎月第3水曜日に公民館で実施しています。
独居高齢者給食サービス	年3回、地区内の独居高齢者を対象に、お弁当を配布しています。

伝統文化の継承(浅海獅子舞保存会)

浅海獅子舞は地域住民の無病息災、五穀豊穡等の願いを込めて地元神社に奉納される伝統芸能として受け継がれています。永く後世に伝え継ぐとともに、地域振興のために活動をしています。子どもから大人まで、伝統文化の継承を通じて世代間の交流にもなっています。



<地区社協が目指すもの>

地区の住民の中で65歳以上が半数を超えるようになった一方で、小学校の児童の数は年々減少をしています。このことを踏まえて、高齢者福祉の向上と子供たちの健全育成を活動の原点と認識し、高齢者が誰でも気軽に参加できる通いの場の運営やサロン活動の助成を積極的に実施するとともに、まちづくり協議会や公民館の催し物、加えて小学校の行事などにも協力をして世代間の交流を進めます。また、高齢者や子供たちが安心して、安全に暮らせるような環境を目指して見守り活動を継続していきます。

地区の状況	■地区民協	5名	■町内会・自治会・区長会等	9団体
	民生委員 主任児童委員		2名	■高齢クラブ
	■まち協の設立	平成28年度	■子ども会	0団体
			■自主防災組織	3組織

スーパーやコンビニがなく買い物に不便という課題を抱えていますが、「あさなみマルシェ」の開催や、地域住民の高齢化に向けて介護予防や生きがいづくりをめざし通いの場「水曜どうでしょう」を開設するなど課題発見力と課題解決力を持ち合わせた地区です。また「浅海獅子舞保存会」を中心に子どもから大人まで伝承文化の継承に取り組んでおり、子どもたちはこうした活動に参加することによって地域の歴史を知り、地域住民と共に世代を超えた交流を通して地域のアイデンティや感性を培う貴重な機会となっています。



たていわ 立岩地区

人口: 756人(高齢化率59.9%)
世帯数: 425世帯

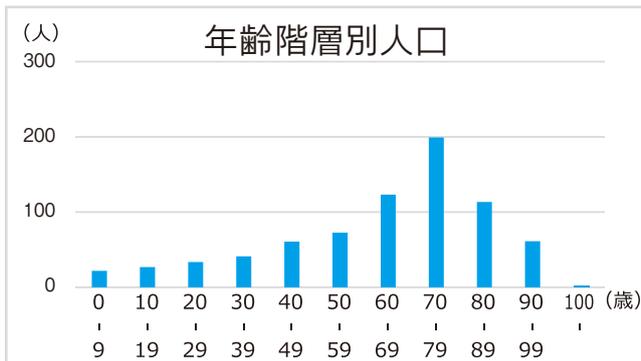


【地区の特色】

高縄山の北側、立岩川流域の18地区からなる立岩地域は、豊かな自然に囲まれた山間ののどかな山村地域である。子どもから高齢者まで地域住民全員参加の運動会、文化祭、スポーツレクリエーション、交流活動等が多数開催され、毎年5月には山一面につつじの花が咲き誇る貫之山を地域のシンボルとして守り育てている。



立岩つつじまつり



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため、各家庭の状況を皆が把握している ・区長会が機能している(町内行事参加率約98%) ・公民館の活動が活発→区長会が協力 ・地区内の関係団体等の連携がとりやすい ・自然が豊か
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化傾向が顕著 ・高齢化率約60%(80歳以上の割合が問題) ・若者が少なく諸行事が負担になる ・子どもが減り後継者がなく、獅子舞をやめた ・緊急車両が入りにくい道路がある ・働く場所がない ・自然が多いため、災害の危険がある(地すべり、傾斜が多い) ・車がないと外出が困難
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれる場所がない ・自然災害時の危険箇所(120カ所)の不安 ・大雨時、避難場所が利用できない場所にある ・高齢者の避難方法が不安 ・車がないと外出が困難(買い物、通院、集まり、畑など) ・道幅が狭く、緊急車両が入りにくい場所がある ・子どもが少なく、行事ができない、若手不足で負担が大きい ・公民館・集会所の和室は、高齢者や足の悪い方は利用しづらい

立岩地区社会福祉協議会 よりそい、気配り、支え合い—笑顔あふれる花垣の里—

構成団体	地区民協・公民館運営審議会・公民館・福祉施設・日赤奉仕団・小学校・みまもり員 青少年健全育成会・PTA・スポーツ少年団・JAえひめ・交通安全協会・学識経験者
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年1回作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
給食サービス (花垣弁当)	毎月1回、独居・寝たきり高齢者の希望者に対し、安否確認をかねて弁当とおやつを配っています。※紀貫之来遊伝説より立岩地区を「花垣の里」といわれたことから「花垣弁当」と名づけられました。
小学校との交流	小学生と地域住民が、小学校の校舎や校庭の清掃活動やもちつきを一緒に行い交流をしています。

いきいき健康教室

約20年続いているいきいき健康教室。2ヶ月に1回、地域内の福祉施設と公民館と協力し、健康に関する講座や調理から行う栄養教室、身体を実際に動かしての体操教室を開催しています。時には、ゲームや物づくりをするなど、地域住民誰もが楽しめる場となっています。



<地区社協が目指すもの>

立岩地区は、高縄山北側の山間地域です。ますます高齢化が進み、不安な課題もありますが、ふるさとを大切にする住民の熱意と結束は、とても強い地域です。ツツジまつり・夏まつり・住民参加の運動会・公民館まつり等多くのイベントがあり地域内・地域外を含め交流の場となっています。準備を含め助け合い・支え合い精神を育む場となっています。地区社協の活動として、まつイチ体操・いきいき健康教室・地区でのサロン活動等を通じ、健康増進・ふれあいの場づくり・機会づくりをし、地域でいきいきした暮らしができるよう応援します。

地区の状況	■地区民協	5名 2名	■町内会・自治会・区長会等	17団体
	民生委員		■高齢クラブ	0クラブ
	主任児童委員		■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成30年度	■自主防災組織	12組織

中山間地域で人口減少や住民の高齢化が課題としてありますが、豊かな自然と住民同士の支え合う力や、高いネットワーク形成力を活かし様々な地域活動が盛んな地区でもあります。年間を通して実施される配食サービスでの独居・寝たきり高齢者の安否確認や、小学校と地域住民との清掃活動、餅つきといった季節行事を通しての交流会、ツツジまつり開催など地区の特性を活かして高齢者の孤立化防止や、伝統行事・文化の継承に取り組んでいます。こうした普段の暮らしから派生する行事や交流の継続が、地域力を高め防災や防犯につながる力を培うことでしょう。



なんば 難波地区

人口: 1,772人(高齢化率42.6%)
世帯数: 935世帯

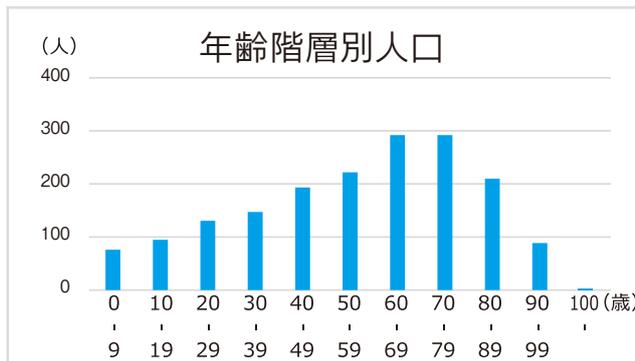


【地区の特色】

難波地区は、高縄山系から北側に連なる恵良山や国の天然記念物エヒメアヤメの自生する腰折山の麓と瀬戸内に面した豊かな自然に包まれ、伝統ある歴史・文化が継承されてきたのどかな農山村地域である。難波に住んで良かったとお互いが思える街づくりを目指し、地域住民のコミュニケーションづくりを展開している。



風早火事祭り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する気遣いがある ・ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しみにしている ・高齢者や障がい者施設がある ・障がい者施設のまつり(北条育成園)がある ・自然に恵まれている ・同居世帯が多い ・スーパー、コンビニがある ・公民館活動が盛んで公民館、学校、地域が連携している ・地域行事への参加が多い ・難波子ども教室で子どもを見守っている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増えない ・銀行がない ・空き家が増えてきた ・交通の便が悪い ・津波の心配がある ・土砂災害警戒区域が多い ・独居高齢者が多い ・高齢者が遊ぶところ、機会が少ない ・独居高齢者の見守りが大変(対象者が増加) ・地域の役の担い手がない(人手不足) ・鳥獣の被害が多い
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・高齢者の集いの場が少ない ・土砂災害警戒区域が多い ・各種団体の後継者不足 ・独居高齢者が増加している ・買い物困難者が多い

難波地区社会福祉協議会

ささえあい 思いやりが育つさと 難波

構成団体	地区民協・公民館・区長会・公民館運営審議会・交通安全協会 保育園・高齢クラブ・小学校・サロン代表者・独居高齢者みまもり員 PTA・高齢者施設・包括支援センター
------	---

主な取り組み	活動内容
いじめや差別のない地域の推進(人権啓発)	難波地区内でいじめや言われなき差別がなくなるよう、小学校・公民館と共に協力して推進しています。
高齢者が元気で生きがいを感じる地域の推進	高齢者がどのような状態であろうとも、元気で生きがいを持って過ごせるよう支援すると共に行事等を通じて交流を図っています。
防災に強い地域づくりの推進と地域住民との連携	公民館活動を中心に避難しやすい避難所の充実と自主防災組織との連携で安全な地域づくりを推進します。

笑顔でいきいき健康教室

地域住民を対象にいきいきとした生活が送れるよう、日頃の食事の大切さや偏らない食事の方法等栄養について学んだり、レクリエーションを通じて運動の大切さ、認知症を予防するための脳トレ等の体験をする等皆で楽しく行っています。



<地区社協が目指すもの>

難波地区は、海・山・川・田畑に囲まれた環境の中、地域の公民館活動を基盤として地域内の交流が保たれ、少子高齢化が進む中においてもお互いに助け合う穏やかな地区である。また社会福祉関係の施設(保育園、知的障がい者施設、高齢者介護施設等)も充実しており、身近な場所で相談ができ、安心して暮らせる地区でもあります。地域内には道の駅「ふわり」があり高齢者が地元生鮮食料品を出荷する等、生きがいづくりに励んでおり、今後は地元スポーツセンター等と連携したスポーツや健康教室等を通して元気でいきいきと安心して暮らせる地区を目指します。

地区の状況	■地区民協	5名	■町内会・自治会・区長会等	5団体
	民生委員		■高齢クラブ	3クラブ
	主任児童委員		■子ども会	0団体
	■まち協の設立	—	■自主防災組織	6組織

高齢者世帯が増加傾向にあり少子高齢化の課題を抱えています。道の駅「風早の郷風和里」や北条スポーツセンター、長浜海岸でのビーチバレー大会など販売所やスポーツ施設の充実もあって、幅広い年齢層が集まり健康づくり・生きがいづくりに繋がる活動が盛んな地区です。「笑顔でいきいき健康教室」は、普段の生活から感じる身近な課題をテーマに認知症予防の脳トレや、偏食予防など自分たちで実現可能な取り組みを住民同士で共有しています。こうした活動は、地区の豊かな自然を活かして住民の健康意識を高め、運動習慣を身につけるだけでなく、コミュニティ活動への参加を高めるとともに、地域を支えるコミュニティ活動の活性化を図ることにもつながるでしょう。



まさ おか

正岡地区

人口: 1,924人(高齢化率42.6%)

世帯数: 933世帯

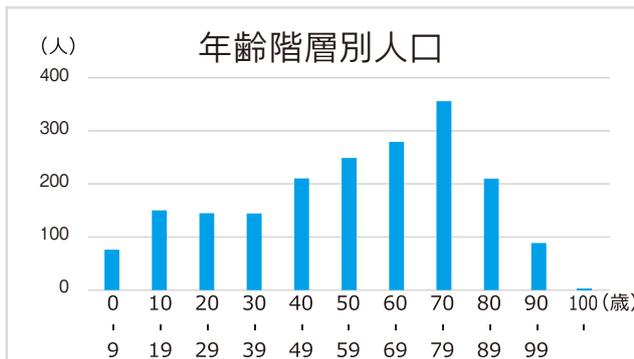


【地区の特色】

正岡地区は、「風早の火事まつり」と異名をとる国津比古命神社の「みこし落とし」が開催される地域である。古くから自然環境にも恵まれ農業(現在は果樹産業)が盛んであり、各地区には農耕生活の心情を表した伝統芸能「獅子舞」や祭礼や、縁日の余興として盛況を極めた農村娯楽「伊予万歳」が盛んである。



国津比古命神社・櫛玉比売命神社



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが強い ・祭りが盛ん ・子育てに関する施設が近隣に充実している ・愛護班が4つあり、熱心に活動している ・地域の人子ども見守っている ・地区内に大学がある
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進んでいる ・独居、高齢夫婦(現在90才でも5年後には95才)が多い ・独居男性も多い ・過疎化が進んでいる ・空き家、耕作放棄地の増加 ・新しい家が建てられない ・歩いて行けるようなスーパーがない ・バス、駅(JR)に遠い ・きょうだい、子どもが遠方にいる ・病院に行く手段がない
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・買物難民(高齢者が歩いて行けるような距離にない) ・独居高齢者、高齢者世帯の今後の不安 ・独身者男性が多く、今後独居高齢者増に繋がる不安 ・家族(きょうだい、子ども)が遠方にいる ・若い世帯、子どもが増えない ・病院に行く手段がない ・各種団体の高齢化、後継者不足

正岡地区社会福祉協議会

国津のもりと 愛の里 in正岡

構成団体	地区民協・学識経験者・高齢クラブ・公民館・福祉施設・消防分団・交通安全協会 青少年健全育成協議会・小学校・PTA・日赤奉仕団・JA果樹部・みまもり員
------	---

主な取り組み	活動内容
児童福祉事業	新入学児童へえんぴつ・防犯ブザーの配布をしています。
各サロン活動の支援	ふれあい・いきいきサロン、自主活動サロン、子育てサロンの活動が充実し、住民同士の交流が深まるように支援をしています。
高齢者講座	地域の高齢者を対象に健康等に関する講座を開催しています。

給食サービス(年2回)

70歳以上のおひとり暮らし高齢者、90歳以上・寝たきり高齢者、ひとり親家庭等へ民生委員とみまもり員がお弁当やおはぎを配布しながら声掛けをし、見守りを行っています。おひとり暮らしの方が集まってお弁当を食べるなど孤立解消や交流にもなっています。



<地区社協が目指すもの>

福祉学習事業を推進し、誰もが幸せを感じ安心して暮らせるよう、ふれ合い支え合うまちづくりを目指します。

《特に充実させたい事業》

- ・健康、交通安全、防災など地域住民交流学习
- ・独居高齢者、在宅寝たきり高齢者訪問など高齢者見守り活動
- ・小学校を対象とした福祉体験学習と地域住民との交流

地区の状況	■地区民協	5名	■町内会・自治会・区長会等	6団体	
	民生委員		2名	■高齢クラブ	3クラブ
	主任児童委員			■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成23年度	■自主防災組織	6組織	

少子高齢化が進み独居高齢者を多く抱える地区ではありますが、地区内に保育園をはじめ教育施設・機関が多くあり日頃から子どもたちは、地域行事への参加や福祉施設への訪問など福祉教育の充実した地区でもあります。少子化の現状は変わりませんが、子どもたちとその家庭を温かく見守り地域で「健やかな成長」を育む土壌が備わったところです。こうした住民同士の思いやる心は、地域活動からも見受けられます。児童福祉事業では新入学児童へ鉛筆や防犯ブザーの配布、各種サロンでは高齢者対象のふれあい・いきいきサロンや子育てサロンの開催、給食サービスは、独居高齢者を対象にお弁当を配布し見守りを続けています。



ほうじょう

北条地区

人口: 7,725人(高齢化率33.0%)

世帯数: 3,789世帯

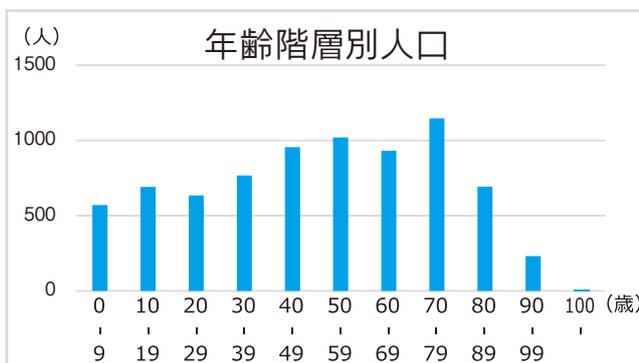


【地区の特色】

北条地区は、松山市の北部、旧北条市内の中心に位置し人口が密集しているが、少子高齢化が見られ人口減少傾向にある。町内会では住民の団結力が強く、伝統的行事には一致協力している。地区内には鹿島があり、北条の顔といえる周囲1.5kmの小島である。10月中旬には北条港で県無形文化財の櫓練り(かいねり)、明星川にみこしを投げ込む「みこしみそぎ」が有名である。



無形文化財「櫓練り」



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のつながりが比較的強い ・医療関係の充実 ・支所や各種施設があり、日常生活で困ることはない ・JRの駅がある(特急が停まる) ・教育文化が充実 ・災害が少ない ・お魚が美味しい ・農作物のお裾分けがある ・三世代の交流ができています ・公民館やまちづくり協議会の活動が活発 ・道路も整備されており、松山・今治共に近いという利便性
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加 ・子どもが少ない ・特急(JR)が停まる便が減少 ・伊予鉄バスの本数が減少 ・空き家、空き店舗が増加している ・避難所が収容人数に伴わない広さ ・道幅が狭く、生活道路に緊急車両が入らない ・大きい遊び場(公園等)がない ・娯楽施設がない ・学生がバイトのできる場が少ない ・野良猫が多い
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少 ・人口の高齢化 ・世帯数の減少 ・高齢者世帯の増加 ・収入の増加が見られない ・就労場所が近くにない ・高齢者施設の定員数が少ない(将来いっぱい入所できないかも) ・産婦人科がない ・総合病院がない ・世帯数は増加している(学生等賃貸の単身者の増加)が、人口が減っている

北条地区社会福祉協議会

瀬戸の凧 心和らぐ風早の里 鹿島

<拠点> 松山市北条885-1 (おもてなしサロン明星)

TEL:089-992-5080

構成団体	地区民協・日赤奉仕団・区長会・小学校・公民館・PTA・高齢クラブ サロン代表・交通安全協会・ボランティアグループ
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
高齢単身者給食サービス	年4回(6.9.11.2月)地区内の75歳以上の高齢単身者へお弁当を配布しています。
地区内行事への出店	地区内で開催される行事において、うどんやいなり寿司などを販売しながら地域住民との交流を深めています。

北条小学校児童と地域高齢者との交流

毎年、地域の高齢者と地区社協メンバーが北条小学校4年生とグラウンドゴルフ、1年生と昔から伝わる遊びとして、こま回しや竹馬、おはじき、あやとりなどを通して交流を図っています。

また、グラウンドゴルフのやり方や昔あそびを児童に教えることで、高齢者の活躍の場になっています。



<地区社協が目指すもの>

当北条地区社協事務所は、平成19年に基幹型サロンと一体となって開設され、令和4年で15周年を迎えました。誰もが安心して健やかに暮らしていける社会を実現するために地域住民とのつながりが大切でありながら、社協との接触が少ないためか若年層は特に認知度が低下していると思われる。地域団体、組織と協力し様々な活動等を通じて意見・情報交換、福祉課題に取り組み、身近な社協として認知度を高めたいと考えております。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	17名 2名	■町内会・自治会・区長会等	28団体
	■まち協の設立	平成22年度	■高齢クラブ	2クラブ
			■子ども会	0団体
			■自主防災組織	24組織

幼稚園から大学まで教育機関が整っており、その他スーパーやホームセンター、医療機関、福祉施設、松山市役所支所などがそろい日常生活に便利な地区です。したがって、若者層の単身世帯から子育て世帯、高齢者世帯まで幅広い世帯が居住しています。人口減少や住民の高齢化による空き家、空き店舗の増加といった課題を抱えていますが、最近では地区外から若い経営者が移住し店をオープンするケースや、大学生らを交えて祭りを開催するなど伝統文化の継承、小学生と地域高齢者との交流といった取り組みによって、若者が集う空間や機会が増えつつあります。こうした世代を超えて地域を盛り上げるために必要な地域への愛着と実行力を備えた地区といえるでしょう。



この 河野地区

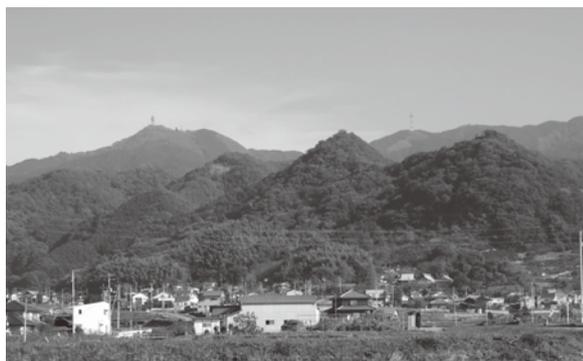
人口:5,293人(高齢化率35.2%)
世帯数:2,444世帯



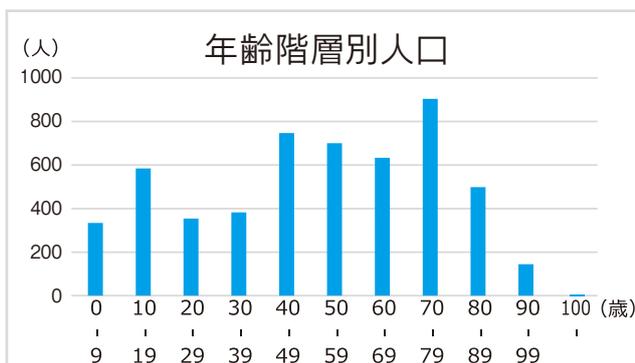
【地区の特色】

かつて風早郡の中心であった中世伊予の支配者河野氏発祥の地域。豊かな伝統文化と風土に恵まれ、住民は質実剛健の気質、公民館行事にも積極的で知られる。

地域の中で心のふれあいを大切にし、潤いある明るく住みよいふるさと河野づくりをめざしている。



雄甲山・雌甲山



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の「文化の森」には図書館、児童センター、保健センター、市社協北条支所、包括支援センター北条、公園などがあり便利 ・公共の施設が充実している ・住民同士の横のつながりが強い ・環境がよい ・住みやすい ・病院・介護施設が充実している ・中江藤樹のゆかりの地 ・高浜虚子(俳人) ・仙波花叟(俳人) ・別府遺跡 ・自然が豊か(蛭) ・オオキトンボの生息地
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高い ・高齢世帯の増加 ・役員の高齢化 ・後継者不足 ・空き家の増加 ・地区によって人口の差がある ・高齢クラブ(2団体)の担い手不足や加入者の減少により連合会の維持に苦慮している ・動物(猪・猿・鹿・ハクビシン)による作物被害
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体役員の高齢化、後継者不足 ・高齢者世帯の増加 ・空き家の増加 ・地域行事への参加者が限られている ・独身者が多く、今後独居高齢者になる恐れがある ・サロン活動の運営、継続が困難

河野地区社会福祉協議会

ささえ合う雄甲・雌甲の愛の里

構成団体	地区民協・区長会・日赤奉仕団・小学校・中学校・PTA・高齢クラブ・公民館 交通安全協会・議員・まち協・自主防災連合会・女性防火クラブ・消防団
------	---

主な取り組み	活動内容
河野ふれあい広場	毎月第1土曜日、昼食を食べたりおしゃべりをしたり、高齢者から小さな子どもまで世代を問わず交流できる場となっています。
ふれあい グラウンドゴルフ大会	60歳以上の住民を対象に毎年開催しています。毎回100名を超える参加があり、健康増進や住民の交流の場となっています。
福祉研修会	サロン参加者や福祉推進委員（※地区社協独自のネットワークづくりによる近隣のお世話役）を対象に、地域福祉活動の活性化に繋がるように毎年、講師を迎え開催しています。

給食サービス&敬老訪問～小学生の手紙を添えて～

70歳以上の独居高齢者、寝たきり高齢者宅へ民生委員と福祉推進委員（※）が年3回お弁当をお届けしています。

敬老の日には地元の海産物やお菓子、河野小学校児童の手紙を添えてお届けしています。毎年、児童へお礼の手紙をくださる方もおり、大変喜んでいただいています。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化が進み地域コミュニティの希薄化が心配されています。誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる温もりのある地域社会を作り上げていくために地域住民との連携により地域福祉向上に貢献することが大切です。啓発活動として各種サロン活動の充実及び支援や福祉サービスとしての給食サービス（年3回）を継続していきます。また、世代を超えて交流できるふれあい広場の新設にとともに、ボランティア団体やまちづくり協議会等と連携することで災害時の緊急支援にも取り組んでいきたいと思ひます。

地区の状況	■地区民協	10名	■町内会・自治会・区長会等	15団体
	民生委員		■高齢クラブ	2クラブ
	主任児童委員		■子ども会	0団体
	■まち協の設立	平成31年度	■自主防災組織	14組織

河野別府公園（北条文化の森公園）は、松山市社協北条支所をはじめ、児童センター、保健センター、地域包括支援センター、図書館、北条ふるさと館など文化施設やスポーツ施設が集まり、様々な暮らしの用途に合わせた余暇活動の充実や、保健・福祉相談といったワンストップでの対応を可能にしています。こうした環境をうまく活かしすべての住民を対象とした「河野ふれあい広場」や、「給食サービス&敬老訪問」などは、幅広い世代が交流できる機会と場を創造し、コミュニティ結束のさらなる強化につながるといえるでしょう。



あわ い 粟井地区

人口:6,838人(高齢化率36.4%)
世帯数:3,102世帯

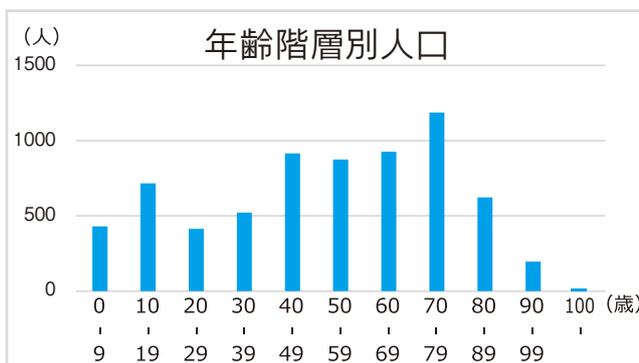


【地区の特色】

粟井地区は、農村地域と団地新興住宅地域の存在する地区であり、主に東部南部を中心に農業が営まれており、新興地域は市内への通勤者が多くを占めている。地区内には23地区の集会所があり、互いの連帯が図られた活動を通し地域づくりを推進している。



桜の山(宅並山)から眺める粟井



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が充実 ・各種団体と地域の連携がうまくできている ・登下校の見守りがある(ボランティア) ・児童クラブと放課後子ども教室がある ・ふれあいマーケット&スマイルタウン(子ども主体のお店屋さん) ・グランドゴルフが盛ん ・ふれあいいきいきサロン、地域交流サロンの活動が活発 ・地域のボランティアで宅並山の管理をしている ・小中学生が挨拶をよくする ・公民館でのサークル活動や地区行事などの活動が盛ん ・災害が少ない ・障がい者の働く場所がある(かなさんどう) ・自然(山、海)が豊かで静かな地域
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、避難時の人手に不安あり ・避難所が遠い ・新しい役員のなり手がいない ・地域活動に新しい若年層の参加が少ない ・自家用車がないと生活しにくい ・近くにスーパーやコンビニがない所が多い ・空き家が増加している
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部の高齢者世帯の増加 ・ゴミ出しや買物など、生活課題を抱えた世帯が増えている ・コロナ禍の自粛で、認知症の症状がある人が増加 ・高齢化により農業をやめる人が増え、荒れ地が増えている ・山間部では、土砂崩れなど災害時不安 ・地域行事等の参加者が固定化しているため、地域の絆が希薄になっている ・コロナ禍で中止になった行事等が元に戻るか不安

粟井地区社会福祉協議会

やすらぎと 愛の泉の 粟井郷

構成団体	地区民協・自治会・健全育成推進協議会・PTA・日赤奉仕団・自主防災連合会 小学校・中学校・公民館・愛護班連絡協議会・高齢クラブ・児童クラブ ふれあいクラブ・消防分団・ボランティア団体
------	---

主な取り組み	活動内容
男性料理教室	地区内の男性を対象に講師の指導で料理を作り、一緒に食事をしながら交流を図っています。
いきいき健康教室	毎年、地域の人を対象に健康や福祉に関する身近な問題を取り上げ、講演会等を開催しています。
自主活動グループ	囲碁将棋交流会やマーじゃん愛好会など、同じ趣味を持つ人が集い、楽しみながら交流を図っています。

卒業生との鯛めしづくりの会

毎年、粟井小学校6年生の児童と地域の人と一緒に卒業祝いの鯛めしづくりをしています。鯛めしは北条の郷土料理で身近な料理ですが、「自分達で作ると時間もかかり、火加減が難しい。家で手伝いたい。」などと家族や地域の人に感謝をしながら調理を通して交流を図っています。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化・核家族化が進み、高齢者だけの世帯や身近に親族のいない世帯が増加してきている中、粟井地区社協では実施事業の一つ一つはたとえささやかであったとしても、次のような願いを精一杯込めて活動したいと考えています。

- ①諸事業を通じて人と人の出逢いを増やし、人と人の繋がりや輪が広がってほしいです。
- ②全ての人々が住み慣れたこの粟井地区で最期まで健康に幸せに過ごしてほしいです。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	11名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	22団体 1クラブ 0団体
	■まち協の設立	—	■自主防災組織	21組織

山や海など豊かな自然を生かした新たな住宅団地が増えるとともに、子育て世代の住民が増加傾向にあります。その一方で、山間部の高齢者世帯が増加し空き家や休耕地が増えている課題を抱えています。しかしながら「卒業生との鯛めしづくりの会」や「男性料理教室」などは、食を通じた参加者同士の交流の活性化を目指すだけでなく、郷土料理を用いることで、地域の文化・風習を体感する経験を参加者で共有し親睦を深めています。また「いきいき健康教室」の開催は、特に独居高齢者らが参加することで社会的な繋がりを持ち、精神的健康、身体的健康、健康習慣の獲得にもつながり健康寿命の伸長にも反映されることでしょう。



